

# 雜 錄

## 目 次

第2回耐火物講習會案内	341
白珪石のみによる耐火煉瓦製造方法の特許公開	342
新刊雑誌記載参考記事主題	342
特許抄録	346

雜 報	348
○大東亞戰爭日記摘要○各國時局情報○ 業界雜報○工業品規格統一調査會における2月中に開催の委員會並に議題○2月中に發布された主要法令目次	

## 第 2 回 耐 火 物 講 習 會

以下主催者**日本耐火物協會**の印刷物次の如し

### 講習會開催御案内

陽春間近の候益々御清祥奉賀候 陳者本會主催第2回「耐火物講習會」左記の通り開催可仕候間要項御精讀の上至急手續完了せられ度此段御案内申上候

昭和 17 年 2 月

東京市京橋區銀座西四ノ五(銀座商館内)

日本耐火物協會

後援 { 日刊工業新聞社  
日本工業新聞社

### 講習會要項

會期 { 自 5 月 14 日 } 午前 9 時—午後 5 時  
{ 至 5 月 16 日 }

會場 大阪市北區堂島 中央電氣俱樂部大講堂

(市電堂島中町下車西入ル南側)

### (イ) 課目及講師

5 月 14 日(木)午前 9 時半より

1. 本邦耐火煉瓦工業の趨勢 理事長 黒田 泰 造
2. 珪石質耐火物の製造技術と使用上の諸問題  
黒崎窯業株式会社 高 良 淳

5 月 14 日(木)午後 1 時半より

3. シヤモット質耐火物の製造技術と使用上の諸問題  
東洋耐火煉瓦株式会社 浮 洲 武 彦
4. 蠟石質耐火物の製造技術と使用上の諸問題  
九州耐火煉瓦株式会社 河 合 幸 三
5. 耐火セメントモルタル

東京帝國大學 永 井 彰 一 郎

5 月 15 日(金)午前 9 時半より

6. 物理及物理化學試験法 東京工業大學 山 内 俊 吉
7. ゼーゲル錐と耐火度 東京工業試験所 伊 藤 亮

5 月 15 日(金)午後 1 時半より

8. 斷熱材の製造技術と使用上の諸問題  
東京工業大學 河 島 千 尋
9. 特殊耐火物の製造技術と使用上の諸問題  
東京芝浦電氣株式会社 不 破 橋 三

10. クロム質及マグネシヤ質耐火物の製造技術と使用上の諸問題 品川白煉瓦株式会社 藤 田 新 三 郎

5 月 16 日(土)午前 9 時半より

11. 顯微鏡試験 京都高等工藝學校 青 武 雄
12. 硝子用坩堝の製造技術と使用上の諸問題  
大阪工業試験所 綿 谷 政 次 郎

5 月 16 日(土)午後 1 時半より

13. 電氣熔融耐火物の製造技術と使用上の諸問題  
旭硝子株式会社 吉 木 文 平
14. 高礬土質耐火物の製造技術と使用上の諸問題  
大阪窯業耐火煉瓦株式会社 青 木 熊 雄
15. 製鋼造塊用耐火煉瓦に就いて  
品川白煉瓦株式会社 毛 利 定 男

(ロ) 座談懇親會及宴會(講師役員及聴講者)(會費 5 圓當日持参)

午後五時半より 中央電氣俱樂部食堂

### (ハ) 見 學

- A 中山製鋼所
- B 大阪窯業株式会社貝塚工場
- C 東亞窯業株式会社大阪工場
- D 正盛館坩堝製造所

注意 1. 希望者は右何れかを指定し、以後希望變更又は代理を絕對に許さず。

2. 見學許可に對しては本會及當該工場首腦者合議の上決定し許可書を聴講許可通知と共に發送す。

3. 耐火物製造關係者は A を、耐火物使用關係者は B、C 又は D の何れか一工場を選定すること。

聴講料 金 10 圓也(許可通知受領と同時に納入のこと)

日本耐火物協會、工業化學會、日本金屬學會、日本鐵鋼協會、大日本窯業協會會員は半額 5 圓也

テキスト 會場にて當日實費(各冊 20 錢)を以て頒布す

募集人員 400 名

申 込 希望者(全課程受講者)には本講習會終了證書を交付す。左記申込用紙に詳細記入の上 3 月 31 日迄に申込みこと。定員超過の際は謝絶することあるべし。